発行所
長野県保険医協会
〒380-0928　長野市若里 1-5-26
電話　026-226-0086
FAX　026-226-8698
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp
年間購読料　3,600 円
会員の購読料は会費に含まれています

長野保険医新聞

2020 年（令和 2 年）4 月 25 日
No.470　（毎月 1 回 25 日発行）
（1990 年 6 月 22 日第三種郵便物認可）

主な記事

2020 年度活動方針…2 ～ 4 面、医科指摘事項 / 公立、公的病院の再検証問題… 5 面、歯科指摘事項…6 面、新型コロナアンケート調査結果… 7 面、保険かわら版… 8 面

第41回定期総会 全議案を原案通り可決

長野県保険医協会は 3 月 22 日（日）にアルピコプラザホテル（松本市）において第 41 回定期総会を開催し、2019 年度活動報告および 2020 年度活動方針、予算関連の議案など全議案を原案通り可決した。今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響から予定していた総会行事のうち、新点数検討会と懇親会は中止とし、総会議事のみを行った。

総会では八重樫会員を議長に選出し、11 名の物故会員に黙祷を捧げた後、議事に入った。

第 1 号議案では 2019 年度活動報告、第 2 号議案 2020 年度活動方針を奥山副会長が提案し、原案通り可決。第 3 号から第 5 号の▽ 2018 度決算報告▽ 2019 年度補正予算▽ 2020 年度予算の 3 議案は市川副会長から一括提案し、それぞれ原案通り可決された。第 6 号議案の役員改選の件については布山理事が提案し、原案通り可決された。

決議案は憲法改正を行わないことを含め、患者の窓口負担軽減、妊産婦の医療費無料制度の創設、診療報酬の大幅な引き上げ、新型コロナウイルス対策のなど 11 項目を米田理事が提案し、原案通り決議を採択した。

可決された活動方針については 2 面以降を参照。なお、決議は内閣総理大臣、関係大臣、地元選出国会議員に送付した。

賛成多数で議案は可決された

長野県保険医協会　役員名簿

任期　2020 年 4 月 1 日～ 2022 3 月 31 日

◇会　長　宮沢　裕夫（歯）
◇理　事　雨宮　雷太（整リハ）、池上　正資（歯）、伊佐津　和朗（歯）、市川　誠（歯）、大石　浩三（歯）、奥山　秀樹（歯・歯外）、金澤　新 (内小)、神谷　誠（歯）、小塚　一芳（歯）、後藤　恵実留（歯）、田村　健一（小内）、新澤　みどり（皮）、野口　修（内リウ）、林　賢（外）、林　春二（歯）、布山　徹（歯）、丸山　正幸（内外）、三田　温（耳）蓑島　宗夫（小ア）、八重樫　弘信（内）、山崎 徹（内ア）、米田　隆紀（歯）
※副会長は理事会で互選する
◇監　査　河野　文幸（歯）、原山　周一郎（歯）
◇事務局長　宮沢　淳司
（顧問）
◇平野　格、張　洛善 、田畑　幸男、中島　博忠

マスク等の確保と相談窓口設置を
調査結果をもとに県に要請

3 月 25 日、県保険医協会は長野県に対し、新型コロナウイルス感染症に関する緊急要請と懇談を行った。3 月 13 日～ 17 日に会員医療機関に対して実施した緊急アンケートの結果をもとに、①マスクや消毒液等の確保と相談・調整窓口の設置、②感染症（疑い）患者の診察のための動線確保などへの財政支援、③医療機関及び県民への情報提供を求める、の 3 点からなる要望書を宮沢会長から県健康福祉部薬事管理課長へ手渡した。

懇談ではマスク等配給の県の対応状況について確認するとともに、引き続き医療物資の確保に全力を挙げるよう要望した。

県からは現状説明として、マスクについては感染症指定医療機関・帰国者・接触者外来の医療機関における在庫を把握管理し、県の在庫 4 万枚の配布が済んでいる。病院・有床診療所へは市町村の協力による 22 万枚の確保分を保健所が毎週の調査結果に基づき配布している。一般診療所については、市町村を相談窓口とした上で、市町村の在庫状況に応じて地域振興局で相談に乗るといった形をとっている。

消毒用エタノールについては、ようやくマスク同様に国がメーカーと直接交渉して各都道府県から要望を集約したが、配給される量はおそらく要求の 10 分の 1 以下の見込みのため、マスク同様に優先順位を付けざるを得ない。その他の医療物資、N-95、フェイスガード、ゴーグル等も非常に品薄なため、県から国へ要請しているが、具体的な話は出ていないとの説明がされた。

協会では今後もマスク等の不足解消に向け、国、県に対して要請を行っていく。マスク等の在庫不足で困っている医慮機関は、まず市町村に相談を。

新型コロナウイルス感染症緊急アンケートの詳細については 7 面を参照されたい。

県（左）へ要請書を提出

Q&A 検討会 動画説明のお知らせ

県保険医協会では 4 月下旬に Q&A 検討会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3 月の新点数検討会に続き、やむなく中止することといたしました。

なお、新点数検討会の中止に伴い、検討会テキスト「点数表改定のポイント 2020 年 4 月（医科）」を用いた説明動画を配信いたします。配信方法につきましては 4 月下旬に会員無料発送のテキストに同封の案内をご確認下さい。

鶏声

人は人社会の中でなければ生きていけない。その社会を円滑に送るには失敗しない事ではない。ミスをしたら認めること。次にミスに気付いたら訂正すること。もっと大切なのは素直に謝ることだ。今の安倍総理の言動を見て欲しい。モリカケ問題、桜を観る会にしても素直に謝ったら、大した問題ではない。嘘にウソを上塗りするから信用を無くす。ゴリ押ししてイソップ童話にあるオオカミ少年と同じで、何を言っても信用されなくなる。◆今、世界中が新型コロナウイルスで大変だ。他国ではＰＣＲ検査をして感染者を選別している。しかしわが国はそうはしない。国民の多くはなぜ厚労省は頑なにＰＣＲ検査をさせないか不満だらけだ。訳の解らない理屈をこねないで、国民の要望にこたえることこそ第一義とすべきだ。しかも感染者は日増しに増加している。国民が不安なのは、厚労省を含むオオカミ政権が善良な国民をまた騙しているのではないかということだ。2 月28日鈴木直道北海道知事の発した道民に対する緊急事態宣言の声にはあれだけ敏感に反応した国民が、オオカミ政権の発した声には大した反応を見せないのは当然だ。言うまでもなく道知事が信頼し得る政治家だからだ。と言ってもそれで問題は解決するわけではない。◆この新型コロナウイルスは世界中に広がって未曾有の危険極まりないウイルスなのに、国民がこぞって反応できない指導者が存在することにある。一刻も早く正常な指導者、つまり「政治責任は私にある」と言える政治家に現れて欲しい。（S・H）